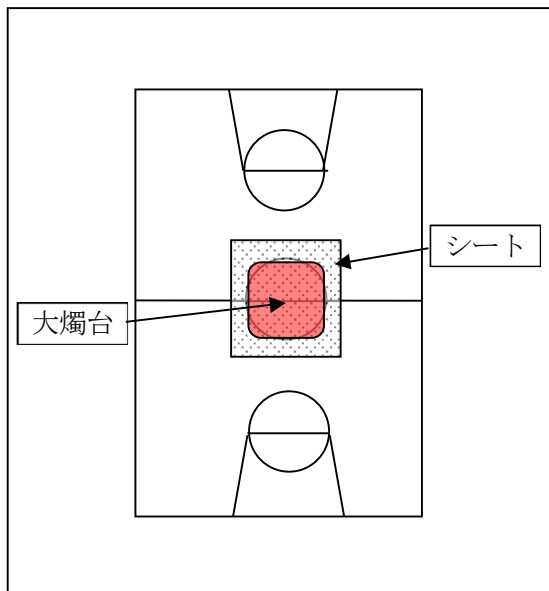
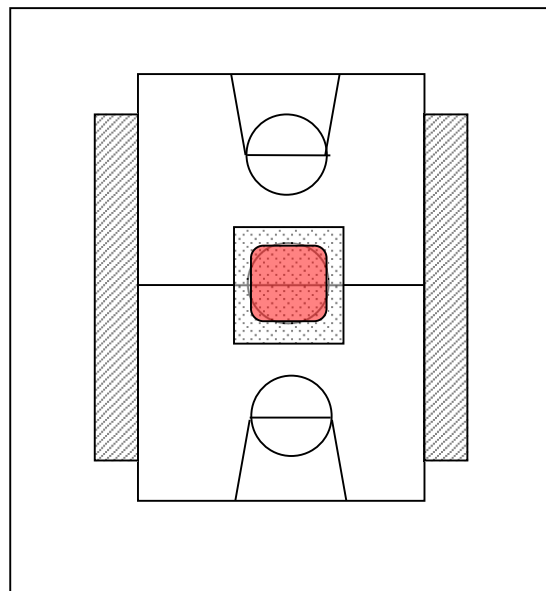


シートの敷き方

体育館の場合

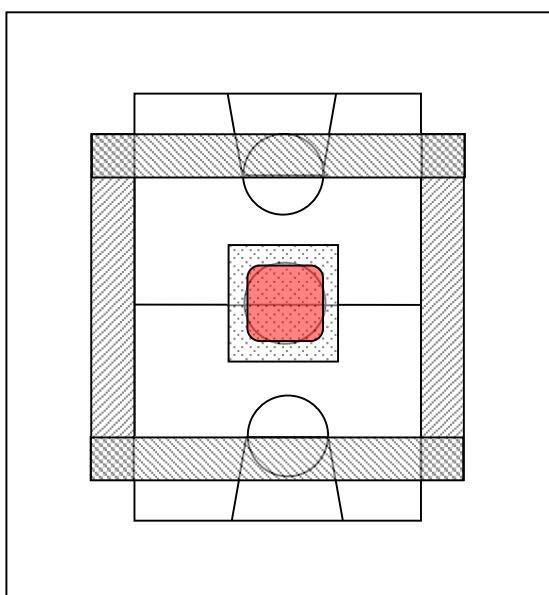


- ① バスケットコートのセンターサークル上に中央用ブルーシートを敷き、その上に大燭台を置く。

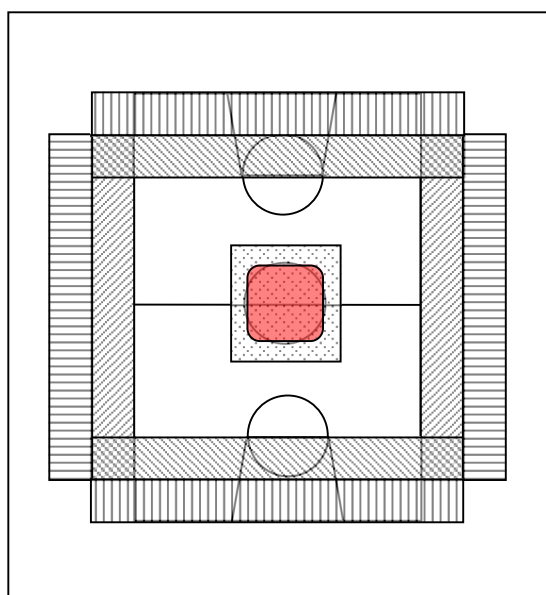


- ② バスケットコートのサイドラインにフロアシート（緑色）の内側を合わせて敷く。

これは基本の形ですので、人数に応じて敷き方を変えることも可能です。
火の神が歩く経路や研修生が立つ場所には必ずシートを敷いてください。
とても滑りやすいため、テープで固定してください。



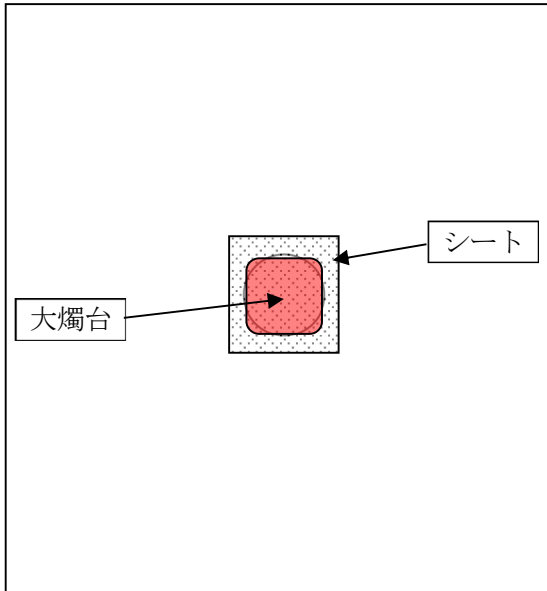
- ③ シートの角を合わせ、②と直角にシートを敷く。



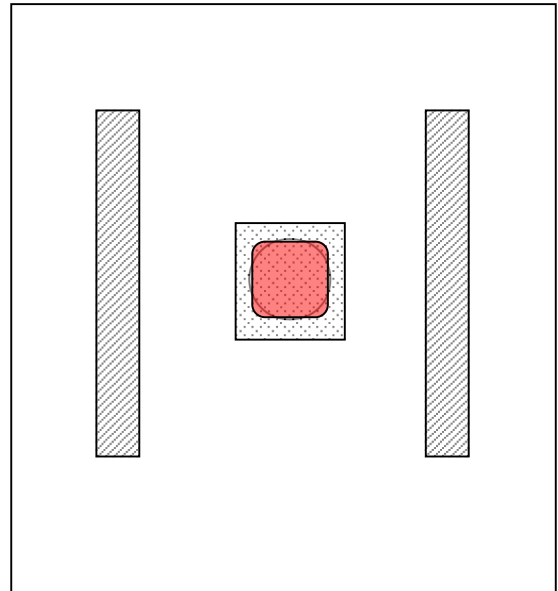
- ④ ②③の外側にシートを敷く

シートの敷き方

講堂・武道館の場合

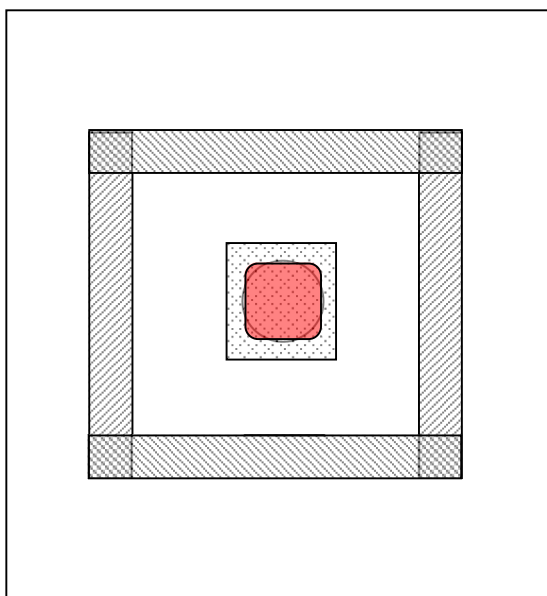


① 会場の中央にシートを敷き、その上に大燭台を置く。

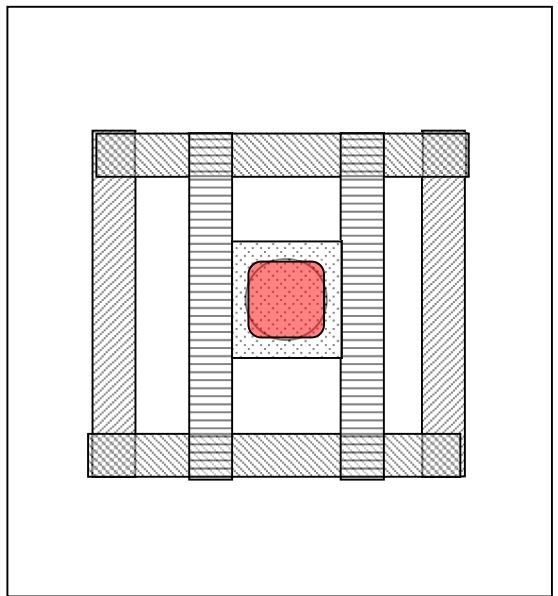


② 研修生が立つ位置にシートを敷いていく。

※講堂、武道館には目安となるラインがないため、目分量で敷く（内側のシートの端が重なるように）



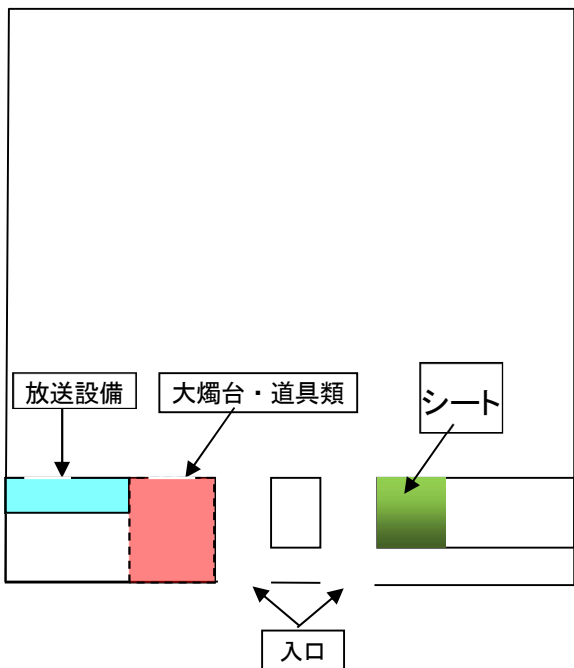
③ シートの角を合わせ、②と直角にシートを敷く。



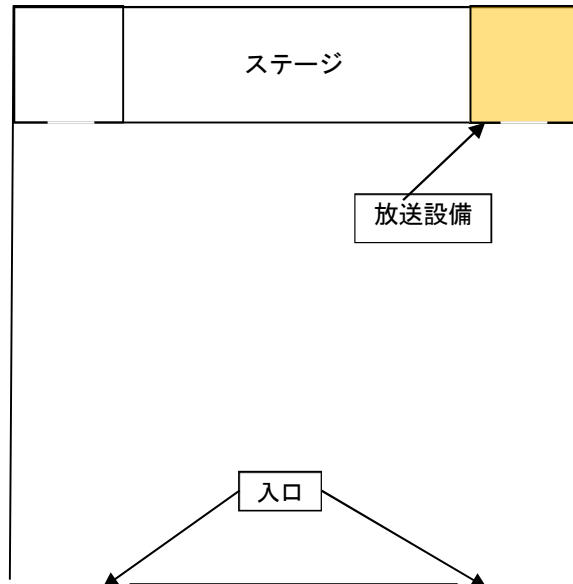
④ 火の神が歩く経路にもシートを敷く。

道具・放送設備の場所

体育館



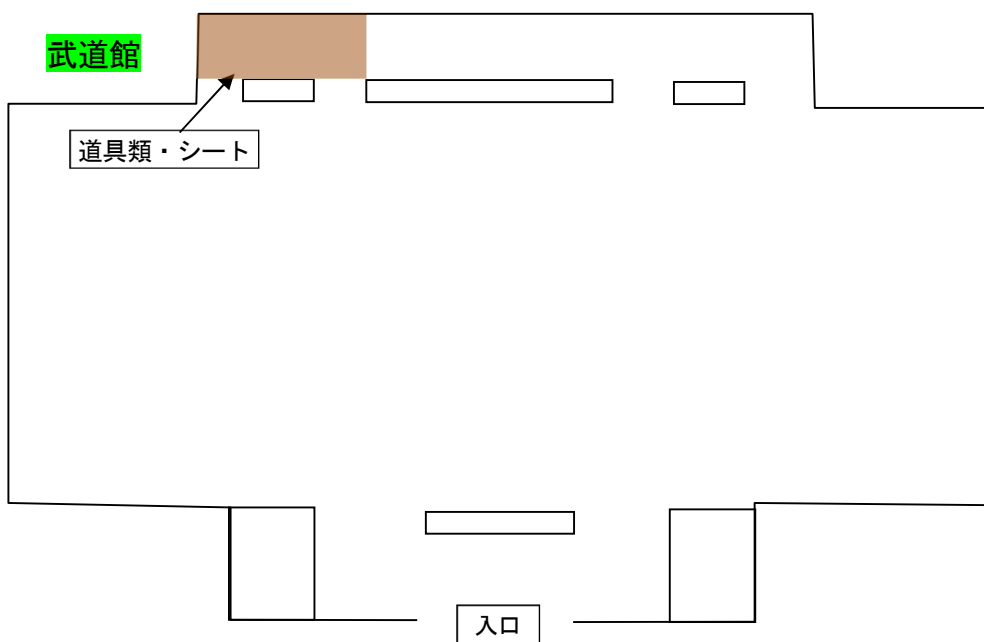
講堂



出入口



武道館



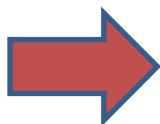
個人用燭台の作成方法（例）

キャンドルの集いでは、一人一人が個人用燭台を事前に作成してもらう必要があります。

※個人用燭台の作り方

①小ろうそくとアルミホイルを用意する。

②25センチ幅のアルミホイルを15センチほどカットし、アルミホイルの真ん中あたりにろうそくを立てる。

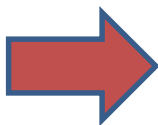


③ろうそくの下部分からアルミホイルをしぼっていく。

※アルミホイルの下部分が破れていないか確認する。

④アルミホイルを花卉のように外側から中側に織り込んでいく。

※外側から中側に織り込む際、花びらが上向きになるようにする。



※小ろうそくが燃え切るまでおよそ10分。ろうが短くなると、もっている手元が若干熱くなるので、気を付ける。

○進行例○

	団体指導者の動き	職員の動き
実施前	<p>① 指導担当者は、17時00分までに事務室から必要に応じてコードリール、アンプ、ワイヤレスマイク、バケツ、火はさみ、キャンドルのつどいセットを受け取る。</p> <p>② 実施場所のコンセント等の確認をする。</p> <p>③ 実施場所にシートを敷き、大燭台の設置を行う。 (参考①参照、大燭台は重いので注意。)</p> <p>④ 大燭台に大ロウソクを立てる。 ※短いロウソクは事務室で長いロウソクに交換する。</p> <p>⑤ 火の神用燭台に大ロウソクを立てる。 ※小ロウソクを使用する場合、団体がロウソクを持参し、アルミホイル等で個人用燭台を作成・使用する。または、ロウが落ちない工夫がなされた燭台の持ち込み可。</p>	準備物の貸し出し
事前指導	<p>集合場所：体育館、講堂で実施の場合・・・各実施場所 武道館で実施の場合・・・かんぼラジオ体操広場(雨天時：ピロティ) (指導担当者)</p> <p>① グループ毎に整列させる。</p> <p>② 救護担当者に健康観察をさせる。</p>	<p>〈注意事項〉</p> <p>① けが、体調が悪くなったら、引率者に連絡する。</p> <p>② シートや床にロウをたらさない。 ※床がじゅうたんの会場は特に注意する。</p> <p>③ 武道館への移動は、暗いので足元に気をつける。(溝に注意)</p>
進行	<p>第1部</p> <p>① 入場</p> <p>② 歌「遠き山に日は落ちて」</p> <p>③ 火の神入場→火の神の言葉→点火</p> <p>④ 歌「四季の歌」</p> <p>⑤ 営火長のことば(火にまつわる話)</p> <p>第2部</p> <p>歌、スタンプ、ゲームなどで盛り上がる</p> <p>第3部</p> <p>① 歌「一日の終わり」</p> <p>② 沈黙(黙って火を見つめる)</p> <p>③ 誓いの言葉(各班代表、各クラス代表など)</p> <p>④ 営火長終わりの言葉</p> <p>⑤ 歌「今日の日はさようなら」</p> <p>⑥ 退場</p> <p>※監視担当者は大燭台のロウソクの火が消えたらつける。</p>	
事後指	<p>① 救護担当者に健康観察をさせる。</p> <p>② まとめをし、解散する。</p> <p>③ キャンドルのつどいの研修終了を交流の家へ報告するとともに、借用物</p>	

参考資料 キャンドルのつどい

導	<p>品の返却をする。 ※物品の破損等が見られる場合は、その顛末を速やかに交流の家に届け出る。</p>	
片 付 け	<p>① ロウソクを消火した後は、水をためたバケツの中に入れ、完全に消火する。(完全に消火したら水を切り、小ロウソクは持ち帰る。大ロウソクはキャン ドルのつどいセットに片付ける。) ② 床及びシートに落ちたロウをロウ削りでとる。 ③ シート、大燭台、所定の場所へ片付ける。 ④ 火の神用燭台、ロウ削り、大ロウソクはキャンドルのつどいセットに入れ、事務室に返却する。 ⑤ 会場をきれいに掃除する。</p>	